



おともがわ

学校報 NO, 34

保護者版

令和元年12月25日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

明日から 楽しい冬休み

平成から令和へ、歴史が大きく動いたこの1年も間もなく終わろうとしています。冬休みを前に、学校では昨日までの3日間、大掃除を行い今年1年の汚れを落として新しい年を迎える準備をしました。

子どもたちは、明日から1月13日まで、19日間の冬休みに入ります。今日の集会では、「一年の計は元旦にあり」、新年を迎えるにあたって、新しい年令和2年をどんな年にしたいか、どんなことを頑張りたいかを、新年のすがすがしい気分の中で考えてほしいと話しました。あと3ヶ月で進級・卒業です。それに向けて一人一人が少しでも意識を高めて欲しいと思っています。楽しく、充実した冬休みを送ってくださることを願っています。



また、冬休みは途中で年末年始が入ることから、生活のリズムを崩してしまうことも多いようです。休み明け、スムーズに学校生活を送ることができるよう、年末・年始以外は、規則正しい生活を送ることができるようご協力もお願いいたします。

1月14日に子どもたちが全員元気に登校してくれることを心待ちにしております。

それでは良いお年をお迎え下さい。

考えてみよう・話し合ってみよう 情報機器との正しいつきあい方

大阪府で小学校6年生の女子児童がSNSで知り合った見ず知らずの男に誘拐され栃木県で無事保護されたというニュースをご存じの方も多いことと思います。また、

ゲームやインターネットのやりすぎが、健康や勉強に与える影響や、ネット依存などについても様々な情報が報じられるなど、改めてこれら情報機器とのつきあい方が問われてきています。

毎年秋田県が県内の4年生～6年生を対象に行っている、「携帯電話等、インターネット利用実態調査」によると、スマートフォンや携帯電話を持っている児童が、秋田県全体でそれぞれ20%前後、インターネットに接続できるゲーム機を持っている児童は90%近くになっているという結果が出ています。



※スマートフォンや携帯電話だけではなく、ゲーム機でもインターネットに接続できるものがありますので注意が必要です。

さらに、この調査の結果では、インターネットやコミュニケーションアプリ等のトラブルや被害は全県で約700件にのぼっていることも報告されています(4年生～6年生全体)。

子どもたちは、これから更に進むであろう情報化社会の中で生きていきます。そこでは、否応なく情報機器と接し、使いこなしていかなければなりません。だからこそ、「どう付き合っていくか」が大切になってきます。

情報化した現在の社会では、ネット環境と機器さえあれば、いつでも、どこでも世界とつながることができます。冬休み、情報機器の使い方や約束などについて是非子どもたちと話をする時間を持っていたいただければと思います。



※小学生ですので、保護者の皆様の見守りは絶対に必要です。約束を決めるだけではなく、使い方を見守り、約束を守れないのであれば、「禁止」といった強い態度も時には必要です。